

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科 1年	単位	4単位
科目コード 300500	科目名 帽子 I a	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅原由美	共同担当者：板野景子
---------------	------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法など帽子の一般知識を習得し、素材の特徴に合ったデザインの発想、トリミング(装飾)など、全体のバランスを考える。
 基礎作図・基礎作図からの展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内容	コマ	内容
1	オリエンテーション	16	キャスケット・ハンチング作図
2	ベレー基礎作図と応用 基本ベレーの制作	17	デザインキャスケット・ハンチングの制作
3	デザインベレーの制作	18	仮縫い
4		19	プリムの縫製方法
5		20	
6	仕上げ・提出 クロッシュ基礎作図(クラウン)	21	
7	クロッシュ基礎作図(クラウン・プリム)	22	仕上げ・提出
8	デザインクロッシュの制作	23	布帛終了制作
9	仮縫い帽子の制作	24	
10	仮縫い	25	
11	裁断・縫製(クラウン)	26	仕上げ・提出
12	縫製(プリム)	27	学年末試験の説明・作品発表
13		28	
14		29	
15	仕上げ・提出	30	

評価方法・対象・比重	テーマ別作品評価・期末試験：出欠・授業姿勢	8：2
------------	-----------------------	-----

主要教材図書	ファッション工芸講座 帽子
参考図書	The HAT magazine
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介
 企業にて素材選びから縫製までをとおして帽子作りを行い、その活動経験をもとに、帽子各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法などの一般知識を習得し、素材の特徴を活かしたデザイン発想、装飾や全体のバランスを考える。ブレード、夏(冬)物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型・専門道具を使用して制作。基礎作図、展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作する授業を実施

記載者氏名 菅原 由美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	9 単位
科目コード		科目名	帽子 I b	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 山内 祐子

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各部の名称や形の種類、頭蓋型、採寸方法などの基礎知識を学び、専門材料であるブレードや夏物帽体、フェルト帽体、コットン芯などの特徴を理解し、木型を使用した制作方法を習得する。
また、素材の特徴に合ったデザイン発想や様々な装飾技法も取り入れ、着装時の全体のバランス力を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

デザイン (1単位・通年) 303100
制作実技A (4単位・前期) 303411
制作実技B (4単位・後期) 303412

1	帽子の一般知識	講義	1コマ
2	ブレード	講義・制作	23コマ
3	巻きリボンの基本の止め方	演習	1コマ
4	夏物帽体	講義・演習・制作	16コマ
5	フォーマルについての一般知識	講義	2コマ
6	カクテルハット土台芯(シェル型・トーク型)	講義・演習	10コマ
7	カクテルハット	講義・制作	13コマ
8	フェルト帽体	講義・演習・制作	13コマ
9	イメージ作品	講義・制作	25コマ
10	コーディネート作品	講義・制作	13コマ

【評価方法】 S～C・F評価

学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書 ファッション工芸講座① 帽子

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

1年次では、学生一人一人の志向を尊重しながらも、確実な基礎技術を身につけます。
教員は、当校において全身のコーディネートの決め手になる帽子を中心としたファッション小物全般を学び、小物企画会社での勤務経験も活かし、帽子制作の基本から装飾的なヘッドピースまで幅広く指導します。

記載者氏名 山内 祐子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	2単位
科目コード	300100	科目名	アートフラワー	授業期間	前期

担当教員(代表)：板野 景子

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アートフラワーの基本的な知識と技術を実習により習得。専門分野に於いて活用できるレベルを目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | | |
|---|---|----|-----|
| 1. マーガレットのコサージュ・・・基本的な布の裁断方法と染色・こて当ての仕方 | — | 制作 | 4コマ |
| 2. カメリアのコサージュ・・・布への糊入れの方法、ペップの使い方 | — | 制作 | 4コマ |
| 3. アネモネのコサージュ・・・裏打ちの仕方、綿だまの作り方 | — | 制作 | 4コマ |
| 4. ポピー・・・しぼりの仕方 | — | 制作 | 4コマ |
| 5. チューリップ・・・インテリア向き大きめの布花の作り方 | — | 制作 | 4コマ |
| 6. バラと小花のコサージュ・・・生花を観察しパターンを制作する方法、小花の作り方 | — | 制作 | 8コマ |

【評価方法】

学業評価70%・授業姿勢30%

主要教材図書 特になし

参考図書

その他資料 各課題ごとのプリントを配布

授業の特徴と担当教員紹介

帽子の装飾やアクセサリーとして活用できるようなアートフラワーの基本的なテクニックを身に着けることを目指す。

記載者氏名 板野 景子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科 1年	単位	2 単位
科目コード	300900	科目名	アクセサリー	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー・アクセサリー商品の基礎知識の習得。
- ・ アクセサリー制作における各種素材の扱いと基礎的技法の習得。
- ・ アクセサリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. ファッションアクセサリーの一般知識	1 × 2 コマ
2. ロストワックスによるピンバッジの制作 ワックスの扱い方、ヤスリ方、仕上げ方 金属の磨き、仕上げ方 ブローチピンの取り付け方	3 × 2 コマ
3. 切りまわし『透かし』の技法によるアクセサリーの制作 (ペンダント、ブローチ、プレスレット) 糸ノコ作業による各種金属素材の違いを学習 アルミニウム板、銅板、真鍮板 →各素材の扱いについて	4 × 2 コマ ・ 各素材の結合方法 →リベット、カシメ
4. 樹脂・プラスチック作品 レジンの扱い 原型制作、ゴム型制作 レジンの流し、軟化、硬化 プラスチックの特性と扱い方法、接着方法 アクセサリーへの加工方法	3 × 2 コマ
5. 平打ちリングの制作、すり出しリングへの展開 銀の扱いについて、金属の加工法 バーナーによる作業 銀のヤスリ方、仕上げ法	4 × 2 コマ

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
アクセサリーに関する知識と技術の習得
教員は、本校を卒業した専任講師が担当

記載者氏名 大工原 睦

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	2単位
科目コード	950000	科目名	自由研究	授業期間	通年

担当教員(代表) : 山内 祐子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業以外での作品やレポート制作を通し、学生個々がレベルアップすることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1 ブランド研究

長期休暇時の課題として、各自好きなブランドの企業について調べる。 レポート提出

2 各種コンテスト参加

ザッカコンペティション、学内コンテストなど。

3 美術館、博物館見学

見学、感想レポート提出。

【評価方法】

履修認定 (P表示)

評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生個々の学習意欲の向上やコンテストなどへのチャレンジ。

記載者氏名 山内 祐子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単 位	2 単位
科目コード 001500	科目名 服飾造形	授業期間	通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要

服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。

衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッション衣料としてのテキスタイルに関連させ指導する。

衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツブラウスの基礎知識・縫製

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

前期2単位

(前期) 26コマ

・服飾造形の基礎 1コマ

服飾造形概説

採寸

文化式婦人原型

・シャツ・ブラウス 25コマ

・一般知識

・作品制作

・レポート提出

・プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」を中心としたプリント

参考図書

その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介

・アパレルに特化した衣服製作 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2020年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
- ・ファンシーブリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習(1)
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかかりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
- ・イタリアンスモッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重
 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単位	1単位
科目コード 200600	科目名 染色演習	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表)： 伊藤 望	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。
さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論
・ 授業内容について
・ 主な染料の種類と特徴
・ 染料と繊維の染色適性
・ 染料と繊維の結合と染着過程 | (1コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛(羊毛)染色
・ 羊毛の性質
・ 酸性染料の特徴
・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | (1コマ) | (実習) |
| 3. 羊毛を使用したフェルト制作
・ 羊毛の縮絨性
・ 羊毛のフェルト制作方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 4. 型紙捺染
・ 型紙捺染の仕組み
・ 捺染の種類と版式
・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較
・ 特殊プリント加工
・ 図案構成と型紙制作
・ 印捺と仕上げ方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 5. スクリーンプリント
・ スクリーンプリントの仕組み
・ 量産プリントの版式と生産工程
・ 図案構成と製版
・ 印捺と仕上げ方法
・ スクリーンプリントと型紙捺染の比較 | (4コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 : 染色の基礎的な浸染法(無地染め)・捺染法(模様染め)の他に加工法も含め実習する
担当教員紹介: 伊藤 望; 女子美術大学、文化服装学院 卒業後、文化服装学院勤務 現在講師

記載者氏名 伊藤 望

2020度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単位	1
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など
 ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 導入 色について		〈講義 1コマ〉
2. 色の三属性	色の三属性(色相・明度・彩度) 等色相面/色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 3コマ〉
3. 配色の基礎	色相を基準とした配色/トーンを基準とした配色	〈講義および演習 5コマ〉
4. 色彩心理	色彩の感情効果/連想/イメージ 色の見え 対比現象/同化現象 膨張性/進出性	〈講義および演習 4コマ〉
5. 色彩理論	光、眼と色 三原色と混色	〈講義 2コマ〉

評価方法・対象・比重
 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
 『ファッション色彩Ⅰ』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介
 色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。演習を中心とする。
 天野豊久 東京造形大学造形学部美術学科卒 日本色彩学会会員

記載者書名欄 天野豊久

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単 位	2
科目コード 500500	科目名 造形演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：北川 陽史

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対するの基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解釈、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

授業は造形作品の制作実習(主に平面上での表現)を中心に展開される。

各項目(テーマ)に対し前提講義を行い、造形理論と制作の方法論を解説する。

制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例を解説・アドバイスすることで、
学生個々の造形感覚の拡張を目指す。

- 1 概論 (講義) 造形を主体とした発想とその展開について視覚心理の見解(錯視)も含め解説(1コマ)
- 2 イメージ構成 イメージを形態と構成によって単純な造形として平画面に落とし込む。
画面内に「動感」を形成。モノクロ平面構成による構成力の育成(2コマ)
- 3 偶発性と造形要素抽出 様々な描画技法(デカルコマニー、フロッターージュ等)を用い、
偶発的に生まれる効果を画面構成の要素として採取し編集する。
ブックとして提出。各種画材、アクリル(黒のみ)と各種用紙(4コマ)
- 4 平面上での立体的表現 平面上における空間感覚の理解。
レリーフの作成、及び色彩表現。(5コマ)
- 5 光とその表現 物質と光の関係性を理解し、デザイン表現を行う。
「光」を多角的に捉え、表現する。平面構成等(3コマ)
- 7 手に馴染む形 抽象概念の理解と彫刻的技法の理解。
イメージ・感覚を抽象化された有機的な形で表現する。(4コマ)
- 6 表層のデザイン 触覚チャートの作成を行う。
素材の理解と、その表層に現れる質感の理解。(4コマ)
- 8 100枚ドローイング ドローイングから、自己分析、自己表現を行う。
無意識的に表現されたドローイングを客観的に解釈し、そこから表現を重ねていく。(3コマ)

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準：学業評価60%、授業姿勢40%

制作実習における成果物を評価基準の対象のひとつとする。基礎造形の理解度と表現性を評価の基準とし、

それに加え、独創性、独自の表現に通じる可能性の感じられるものを高く評価する。

制作実習時の姿勢は勿論、出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書

特になし

参考図書 Visual design(平面・色彩・立体構成)1(改訂新版)日本グラフィックデザイナー協会/六耀社

その他資料

特になし

授業の特徴と担当教員紹介

デザイン表現の基礎となる部分は、机上の知識や、言葉の上だけでの教訓から得られるものではなく、
自分自身が経験する事により、初めて感覚として意味を持つ。

基本的な感覚経験は、作業過程から得られ、発展するとともに知的な変化を遂げ、やがては他の経験と結び付く。
少しずつそれぞれが自分なりの経験を重ねて自己の表現形体を探し出す。

担当教員：北川陽史

武蔵野美術大学大学院造形研究科修了、芸術家、造形作家

記載者書名欄 北川 陽史

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単 位	2単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	通年

担当教員：柳澤 利光

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを他者に伝える為の基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を学び、それらの大切さを理解する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な幾何形態について学ぶ。
画材等の使い方等の基本説明。
- 2～4、静物デッサンⅠ：帽子とシンプルモチーフを描く。造形・質感・空間の練習。
- 5～6、靴のデッサン：エナメルパンプスを描く。靴の基本造形と質感の習得。
- 7～9、パンのデッサン：丸いパンを描く。大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 10～13、石膏デッサン：頭部石膏像を描く。大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 14～15、バッグのデッサン：バックを描き基本造形と質感の習得。
- 16、金属のデッサン：真鍮リングを描く。楕円形と金属質感の描写を習得。
- 17～19、静物デッサンⅡ：鳥の剥製を描く。造形・質感・空間・細密と省略描写の習得。
- 20、小物を描く：様々な造形描写力の習得。
- 21～23、静物デッサンⅢ：複雑な造形のモチーフを組み合わせて描き、描写力を高める。
- 24～27、石膏デッサンⅡ：黒い布を頭部に巻いたミロのヴィーナス像を描く。
大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 28、まとめ：プリントによる、ポイントの復習。

評価方法・対象・比重：

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。
学期末に実技試験あり。

主要教材図書：なし

参考図書：なし

その他資料：授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介：

実際に手を動かして制作する中で、観察した造形の描写力を伸ばします。担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名：柳澤 利光

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単 位	2単位
科目コード 501210	科目名 ファッショングッズデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 北山 千春	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションデザイン画としての人体と、顔、手のバランスを理解する。
ファッショングッズを引き立たせ、トータルコーディネートで、着装画を表現出来るスキルを身に付ける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(全26コマ)

1. オリエンテーション・8頭身プロポーション (1コマ)
ファッションデザイン画の必要性、8頭身プロポーションを理解する
2. 8頭身のプロポーションを描く (1コマ)
モデルの写真を元に8頭身プロポーションを描く
3. ポーズの描き方 I (1コマ)
写真のポーズを読み取り、正面ポーズを描く
4. 着装表現 (1コマ)
ベシックドレスを着装させ、布の動き、フォルムの表現方法を理解する
5. 顔・手のパーツのプロポーション (1コマ)
顔・手のプロポーションを理解する
6. ファッショングッズを描く (2コマ)
ファッショングッズのフォルム、質感を表現する
7. マーカーの使い方 (1コマ)
マーカーの使用方法を演習
8. 素材表現 I (1コマ)
綿やウールの代表的な素材を中心に表現方法を演習
9. ファッショングッズを取り入れた着装画 (4コマ)
(1)人体と小物のバランス感覚を養う (2)アウトラインの効果を理解する
10. 布によるひだのフォルム (3コマ)
プリーツ、フレア、ギャザーなどのひだの構造と表現方法を理解しデザインを表現する
11. 素材表現 II (3コマ)
(1)特殊素材、高級素材の代表的な素材を中心に表現方法を演習(2)オリジナルデザインを描く
12. 修了制作 (5コマ)
・イラストボード_ファッション画としてのイメージの表現力や背景を含めた画面構成を研究し制作する
・マイコレクション_衣服とファッショングッズのトータルコーディネートでデザイン発想し表現する
※上記のどちらかを選択し、クラス内で発表を行う
13. 試験対策 (1コマ)
学年末試験(実技試験)の説明、実習

【評価方法】

S～C・F評価/評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

参考図書 なし

その他資料 教員作成の資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッショングッズを効果的に魅せるデザイン画を描く授業構成。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 北山 千春

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	1単位
科目コード	504010	科目名	グラフィックワーク I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshopでは、画像の切り抜き・合成ができるようになることを目標とする。Illustratorでは、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- Photoshopの基本操作 : 講義・実習 4コマ
 - ①移動ツールの使い方
 - ②ブラシツールの使い方
 - ③レイヤーマスクを使った切り抜き
 - ④画像合成
- 画像合成・ファイル表紙のデザイン : 講義・実習 3コマ
 - ①画像の収集
 - ②切り抜き・画像合成
 - ③文字入力
- Illustrator基本操作 : 講義・実習 3コマ
 - ①基本図形の描き方
 - ②色の設定方法
 - ③整列・画像の配置
 - ④クリッピングマスク
 - ⑤スウォッチ・ブラシ
- デザインマップの作成 : 講義・実習 4コマ
 - ①テーマの設定
 - ②画像の切り抜き
 - ③レイアウトデザイン

【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 使用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018

授業の特徴と担当教員紹介

講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルプリントデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広いPCスキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科 1年	単 位	1単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	後期

担当教員(代表)：澤住 倫子

共同担当者： 澤谷 目童

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (2コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係
2. ファッションの範囲と流行の把握

II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)

1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類
2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷
現代のキーワード
3. 現代のファッションキーワード

III. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

V. まとめ (2コマ)

1. ファッション産業今後の課題
2. 最新ファッションキーワード

※すべて講義

評価方法・対象・比重

テキスト提出 30% 出席日数 70%

主要教材図書 ファッションビジネス概論用プリント

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 倫子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	1単位
科目コード	400300	科目名	服装解剖学	授業期間	半期(前期)

担当教員(代表) : 足立美智子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 解剖学的な人体の構造を衣服パターンやアイテム構造と関連づけながら理解させ、美的で機能的なアイテム製作に必要な人体(骨格)に関する基礎知識を学習させる。人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション(講義内容の説明)	講義	1
プロポーションについて	〃	1
人体の構成(全身骨格)	〃	1
人体の構成(頭部と帽子)	〃	1
人体の構成(頭部の計測実習・脊柱)	〃	1
人体の構成(脊柱)	〃	1
人体の構成(胸郭～乳房)	〃	1
人体の構成(上肢)	〃	1
人体の構成(自由上肢骨・手骨)	〃	1
人体の構成(上肢の運動計測・サージカルテープ計測)	〃	1
人体の構成(下肢帯)	〃	1
人体の構成(自由下肢骨・足骨)	〃	1
障がい者衣料研究について	〃	1

【評価方法】
 ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%

主要教材図書	服装解剖学ノート(文化出版局)
参考図書	頭骨の文化史
その他資料	筋肉プレミアム アプリ・骨格アプリ・骨格標本・衣服標本

授業の特徴と担当教員紹介
授業の特徴 :
 衣服やアイテムを着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着け心地の良いモノ、体に合うアイテム製作への応用を目指す。
担当教員紹介 :
 文化服装学院アパレルデザイン科卒 文化・服装形態機能研究所 主任研究員兼務
 衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011年より障がい者衣料の研究を継続。NHK Eテレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。(2015～17年)

記載者氏名 足立 美智子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン1年	単位	単位
科目コード	902000	科目名	西洋美術史	授業期間	後期 ()

担当教員(代表) : 加瀬浩嗣	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

西洋美術の歴史を通して、様々なアーティストの技法や思想、そしてその時代から見える制約や影響などをどのように作品に反映してきたを考察する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 西洋美術史とは
2. 西洋美術史 (1) 原始美術 古代メソポタミア・古代エジプト・ギリシャ・ローマ
3. 西洋美術史 (2) 中世・・・キリスト教ビザンティン・ロマネスク・ゴシック
4. 西洋美術史 (3) ルネサンス・マニエリスム
5. 西洋美術史 (4) ルネサンス・マニエリスム
6. 西洋美術史 (5) バロック・ロココ・転換期の先駆者たち
7. 西洋美術史 (6) 印象派・象徴派・野獣派
8. 西洋美術史 (7) 課題「好きな西洋画家の作品を考察」
9. 西洋美術史 (8) プレゼンテーション
10. 西洋美術史 (9) キュビズム・抽象主義
11. 西洋美術史 (10) エコール・ド・パリ・アールヌーヴォー・アールデコ・シュルレアリスム
12. 西洋美術史 (11) 現代
13. 西洋美術史 (12) 現代

【評価方法】

課題や発表、出席等

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

西洋美術の歴史を通して、様々なアーティストの技法や思想、そしてその時代から見える制約や影響などをどのように作品に反映してきたを考察する。

記載者氏名 加瀬浩嗣

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科 1年	単位	2 単位
科目コード	980010	科目名	特別講義 I	授業期間	通 年

担当教員(代表) :	山内祐子	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。
 専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。
 学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・コレクション情報 (ファッションの動向と最新コレクションの解説) ……講義 1コマ
- ・SNSトラブルと著作権について ……講義 1コマ
- ・VMDについて (ファッショングッズ商品のプレゼンテーション方法) ……講義 2コマ
- ・流行色解説 ……講義 1コマ
- ・カメラワーク (作品集制作のための写真の撮り方の基礎) ……講義・実習 4コマ
- ・ファッション業界とは (ファッション業界の仕組みと業種、その仕事について) ……講義 1コマ
- ・ファッショングッズデザイナーについて (学生時代にするべき事) ……講義 1コマ
- ・日本の生活文化 (風呂敷) について ……講義・実習 1コマ
- ・ポートフォリオ制作 (就職活動に向けた作品集の作り方) ……講義・実習 3コマ
- ・お金について (時事解説を含めた経済の基礎知識) ……講義 2コマ
- ・服飾小物における事業展開 (小物雑貨のビジネス展開と今シーズンの商品傾向) ……講義 1コマ
- ・学生生活について (人間関係、ストレス対処、カウンセリングについて) ……講義 1コマ
- ・スワロフスキートレンド ……講義 2コマ
- ・スワロフスキー ワークショップ (クリスタルの扱い方) ……講義・実習 1コマ
- ・帽子業界の仕事 ……講義 1コマ
- ・帽子専門材料について ……講義 1コマ
- ・リボンについての知識 ……講義 1コマ
- ・起業について (卒業後からこれまでの仕事の歩みとブランドへの取り組み) ……講義 1コマ
- ・帽子のクリエイションについて ……講義 1コマ

【評価方法】

履修認定 (P表示) 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。

記載者氏名 山内祐子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	1 単位
科目コード	930010	科目名	校外研修 I	授業期間	前期 (集中)

担当教員(代表) :	山内祐子	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

校外での活動（観劇・美術館見学・博物館見学等）を通して、感性を磨き、表現力の向上を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●観劇

「歌舞伎」を観劇し、感想レポート提出。

●美術館・博物館見学

「ぐるっとパス」を利用し、対象施設の中から各自興味のある美術館・博物館を見学。
感想レポート提出。

【評価方法】

履修認定 (P 表示) 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

校外での活動（観劇・美術館見学・博物館見学等）を通して、感性を磨き、表現力の向上を目指す。

記載者氏名 山内祐子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF11	科名 帽子デザイン科1年	単 位	1 単位
科目コード 904500	科目名 キャリア開発	授業期間	後期

担当教員(代表) : 杉本 直鴻	共同担当者 :
------------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる</p>

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方 (企業の採用スケジュールとは、就職活動の進め方)	講義	1
2. 言葉遣い (正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話)	講義・実習	1
3. 電話のマナー・Eメールのマナー	講義・実習	1
4. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1
5. 自己分析①<学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析②<性格・長所>	講義・実習	1
7. 履歴書・エントリーシート①	講義・実習	1
8. 履歴書・エントリーシート②	講義・実習	1
9. 面接・個人 (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
10. 面接・集団 (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
11. グループディスカッション①	講義・実習	1
12. グループディスカッション②	講義・実習	1
13. 作品プレゼンテーション	講義・実習	1
14. 内定から入社まで (内定の意味、誓約書、承諾書、労働法規の理解)	講義	1

<p>【評価方法】</p> <p>・ 出欠席、受講態度、実習 (面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度</p>
--

主要教材図書 「就職対策 第2020年度版」
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>机上の知識だけでなく、将来について (今後の自分自身のキャリア) を実習・実践を交えて学ぶことができる。</p>

<p>記載者氏名 杉本 直鴻</p>

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	帽子デザイン科1年	単位	1 単位
科目コード	945010	科目名	インターンシップI (自由選択)	授業期間	通年 (自由選択)

担当教員(代表) : 山内 祐子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○研修先、期間

帽子、及びファッション小物の業界の企業

1週間～2週間 (受け入れ先企業により異なる)

○研修内容

実務作業補助 (デザイン、製作、営業、生産管理など)

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】 履修認定 (P表示) 評価基準 : 出欠、研修報告書

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事を確認するとともに、学校内では体験できない実務を学ぶことができる。

記載者氏名 山内 祐子